



のぞみ 希望

学校ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/>

学校
ホームページは
こちら



あいさつがつなぐもの

校長 藤崎 健児

2月17日に妙法寺で梅まつりが開かれました。その開会式に招待され、受付をすると市原由貴子さんが素敵な梅のコサージュを胸につけてくださいました。市原さんは本校の総合的な学習の時間「杉田の時間」でご指導をいただいている料理研究家です。この梅まつりを主催する「幻の杉田梅林 賑い復興“梅のまち杉田” 実行委員会」の副会長も務めていらっしゃいます。コサージュをつけていただいただけで、気持ちがうきうきします。

開会までの間に少し時間があつたので、境内の梅の花を見ていたところ、二人の女の子が「おはようございます。」とあいさつをしてくれました。一人はこのあと演奏を発表する梅林小学校の鼓笛隊の子、もう一人は本校、杉田小学校の子でした。3人で梅を見ながら「きれいだねえ。」と話をしました。子どもたちは笑顔でした。少し肌寒い日でしたが梅を介したこの「つながり」に、とても温かい気持ちになりました。



お昼過ぎから梅林小学校の鼓笛隊の演奏に続いて、本校の金管バンドが演奏をします。金管バンドの待機しているところに行くと、高学年の男の子が「あっ校長先生、おはようございます。」と元気にあいさつをしました。また、気持ちがほかほかしました。胸のコサージュに気が付いて「すごい本物の花だ。」と驚く子もいました。金管バンドの子どもたちはその後、境内ステージで演奏をさせていただきました。満開の梅の花に囲まれて、大勢のお客さんの前で演奏する子どもたちの表情

は、とてもうれしそうでした。

本校では継続して「あいさつ」の指導をしています。朝、階段を上がってくる子どもたちの「おはようございます。」という元気な声が聞こえてきます。時々、「やったあ。」という声も聞こえてきます。「先生より先にあいさつをしよう。」とがんばっているようです。梅まつりの寒い朝、二人の女の子があいさつをしてくれてからずっと温かい気持ちが続きました。あいさつは人と人をつなぐ魔法の言葉です。「わたしは周りの人に存在を認められている。」と感じるとともに、そこからコミュニケーションが始まります。

登校の見守りをしていると多くの小学生があいさつをします。さらに学校に向かう浜中学校の生徒に「行ってらっしゃい。」と声をかけると、目を合わせて会釈をしてくれる生徒がたくさんいます。私が着任する前に、杉田小を卒業した浜中学校のみなさんですが、「つながり」が生まれたようでうれしくなります。

引き続き、あいさつをする子どもの育成をめざし、学校全体で取り組みます。それが本校の学校教育目標「このまち大好き 学校大好き 杉田っ子」の具現化につながると考えています。ご家庭、地域のご協力も引き続き、お願いいたします。

